

教員関係

1. 学部

教員数	専任教員：79人 (54.1%) (助手5人除く)					非常勤教員：67人 (45.9%)	
職階別専任教員数等	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	31	17	24	7	79	5	
年齢别人数	25歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～65歳	66歳～70歳	
専任教員	1	10	24	21	19	4	
助手	0	3	1	1	0	0	
専任教員一人当たりの 学生数	21.82人						

2. 大学院

※大学院教員数	専任教員：41人 (93.2%)				非常勤教員：3人 (6.8%)		
職階別専任教員数	教授	准教授	講師	助教			
	16	11	13	1			
年齢別専任教員数	25歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～65歳	66歳～70歳	
	0	6	18	10	7	0	
専任教員一人当たりの 学生数	0.37人						

※大学院専任教員は、学部専任教員と兼任である。

学生関係

1. 学部学生

(1) 学部学生数

人数のうち () は社会人学生

年次	男	女	計	収容定員	収容定員 充足率	留年者数	留学生数	海外派遣 学生数
6年次	75(0)	182(0)	257(0)	270	95.2%	27	0	0
5年次	68(0)	218(0)	286(0)	270	105.9%	3	0	0
4年次	81(0)	181(0)	262(0)	270	97.0%	4	0	0
3年次	89(0)	179(0)	268(0)	270	99.3%	8	0	0
2年次	114(0)	223(0)	337(0)	270	124.8%	14	0	0
1年次	95(0)	219(0)	314(0)	270	116.3%	18	0	0
合計	522(0)	1,202(0)	1,724(0)	1,620	106.4%	74	0	0

(2) 入学者の推移

2019年度 入学者数	2020年度 入学者数	2021年度 入学者数	2022年度 入学者数	2023年度 入学者数
287	275	277	319	296

(3) 年度別退学者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
退学者数	29	15	23	29
除籍者数				
合計	29	15	23	29
中退率	1.7%	0.9%	1.4%	1.7%

(4) 卒業者の推移

2018年度 卒業生数	2019年度 卒業生数	2020年度 卒業生数	2021年度 卒業生数	2022年度 卒業生数
260	270	238	247	294

2. 大学院生

(1) 大学院学生数

人数のうち（ ）は社会人学生

修士課程	年次	男	女	計	収容定員	収容定員 充足率	留学者数	海外派遣 学生数
	2年次	0(0)	2(0)	2(0)	5	40.0%	0	0
1年次	0(0)	0(0)	0(0)	5	0.0%	0	0	
計	0(0)	2(0)	2(0)	10	20.0%	0	0	
博士課程	4年次	4(3)	3(1)	7(4)	3	233.3%	0	0
	3年次	3(1)	0(0)	3(1)	3	100.0%	1	0
	2年次	2(2)	0(0)	2(2)	3	66.7%	0	0
	1年次	1(0)	2(0)	3(0)	3	100.0%	0	0
	計	10(6)	5(1)	15(7)	12	125.0%	1	0

(2) 大学院入学者の推移

年度別 入学者数	2019年度 入学者数	2020年度 入学者数	2021年度 入学者数	2022年度 入学者数	2023年度 入学者数
修士課程	1	0	2	2	0
博士課程	6	6	3	3	3

(3) 大学院年度別退学者数

修士課程	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
退学者数	0	0	0	0
除籍者数				
合計	0	0	0	0
中退率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
博士課程	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
退学者数	0	2	2	1
除籍者数				
合計	0	2	2	1
中退率	0.0%	11.8%	11.1%	6.3%

(4) 大学院修了者の推移

年度別 修了者数	2018年度 修了者数	2019年度 修了者数	2020年度 修了者数	2021年度 修了者数	2022年度 修了者数
修士課程	2	1	1	0	2
博士課程	3	1	0	3	3

国際交流・社会貢献等の概要

1. 海外の協定相手校等

次の各大学並びに外国の行政機関と交流協定または覚書(③～⑦印)またはそれら両方(①、②)を締結している。現在、インドネシア大学から博士課程学生の交換留学生受入れを、また昭和ポストンへの教員の派遣を実施している。

- ①チェンマイ大学(タイ)
- ②ラジャヒ大学(バングラディシュ)
- ③昭和ポストン(アメリカ)
- ④ベトナム教育訓練省国際教育開発局(ベトナム)
- ⑤マサチューセッツ薬科健康科学大学(アメリカ)
- ⑥ガジャマダ大学(インドネシア)
- ⑦インドネシア大学(インドネシア)

2. 社会貢献活動

- ・地域の薬剤師会、病院薬剤師会、医師会などの関係団体及び行政機関と連携を図り、医療及び実践的な薬学教育の発展に貢献できるよう努めている。
- ・薬剤師の資質向上を図るための卒後研修などの生涯教育プログラムの開発・提供及び実施のための環境整備を行うとともに、「公益社団法人薬剤師認定制度認証機構」から特定領域(P)である「健康食品領域研修認定薬剤師制度」の認証を取得したことに伴い、従来の「健康食品講座」を基盤とする健康食品領域の研修事業を一層充実させ、健康食品に関する適正な情報を提供できる薬剤師の養成にも努めている。
- さらに、高齢者の増加により「在宅医療」が必要とされるなかで、薬剤師としての役割の再認識と他職種との連携を図るため、NPO法人エナガの会の協力を得て、薬剤師及び本学学部学生を対象とした実践的な臨床能力育成プログラムを実施している。
- ・地域住民に対し公開市民講座を毎年開催し、薬に関する知識の普及と啓蒙を通して「開かれた大学」をいっそう推進し、地域社会への貢献を目指している。
- ・神戸市東灘区と「地域連携協力に関する協定」を締結し、8月に「キッズサイエンススクール」を開催し、子供たちに台所にあるものなどを使ってキッチンサイエンスを体験してもらい、科学に興味を持ってもらうきっかけを提供している。
- ・神戸市から、災害時における避難所指定を受けており、いつでも避難者の受入れができる体制をとっている。
- ・神戸市消防局と「特殊災害発生時の協力に関する神戸市消防局と神戸薬科大学との覚書」を締結し、放射線災害発生時の対応への助言や、放射線測定器の提供、放射性物質の分析などの協力を行っている。
- また、神戸市消防局員を対象とする放射性物質に関する研修及び実習をアイソトープ実験施設において行っている。

・神戸市東灘消防署と「市民救命士等の養成に関する覚書」を締結し、本学学生には市民救命士、職員には救急インストラクターの養成を行っている。現在、本学は民間救急講習団体(FAST)として登録されており、学生を市民救命士に養成することにより、応急手当の輪を広げる活動に貢献する。

3. 大学間連携

教育や学術、研究活動において協力と交流を推進するため協定を締結しています。

①神戸大学

②神戸大学大学院医学研究科

③大阪医科薬科大学大学院薬学研究科

④芝浦工業大学

⑤大阪大学大学院医学系研究科

⑥甲南女子大学

⑦甲南大学